

目的 私共の周りには年寄の人が多くなって来た。道を歩いていても高年齢層の人によく出会い洋服あるいは和服及びその改良したものを着装している。そこで日常容易に快適に着装出来得る服装を考えるに当り、和服での着装及び脱衣時間を、長着と二部式について測定した所いささか知見を得たのでこゝに報告する。

方法 測定室に被験者を入れ、肌着及び裾よけをつけさせた上、着装時間即ち長着で巻きを締め終るまでとその脱衣時間をストップッチで測定する。

着衣 単衣長着及び単衣二部式である。

被験者 千葉県市川市立養護老人ホームいこい荘の人(女子)
千葉県市川市3丁目第1及び第2町会の人(女子)
和洋女子短期大学被服コース1, 2年生の学生

年齢 19 ~ 85才

結果 長着及び二部式の着装及び脱衣時間は年齢により差があると思われた。